

IQNetは、JQAを含めヨーロッパ、南北アメリカ、アジアなど各国を代表する37の審査登録機関による、世界最大のグローバル認証ネットワーク。これまでに、全世界の第三者認証の3分の1に相当する25万の認証を発行しており、経済のグローバル化に伴い、その役割に対する期待はますます高まっています。

IQNetの特徴は、パートナーである各国の審査登録機関の質を高いレベルで標準化するために、さま

ざまな取り組みを行っているところ。例えば、各メンバーが相互に審査レベルや審査プロセスなどをチェックするほか、厳格なルールに基づいた審査員のトレーニングも実施しています。さらに、市場・社会ニーズを反映した付加価値の高いサービスをめざし、IQNet9004(下段コラム参照)をはじめとする独自サービスも積極的に提供しています。

なお、2006年10月にスペイン(パルセロナ)で開催されたIQNet総会において新役員が決定しました。

IQNet新役員紹介



IQNet会長 R.Wasmer, SQS(スイス)

IQNet事務局長 Tony Di Palma(スイス)

SCCP議長 M.Drechsel, DQS(ドイツ)

Standing Committee on Constitution and Policy
IQNetとしての今後の方針、基本文書(規約、審査の手順書)、ドキュメント作成

SCPM議長 P.Eddie, Nemko AS(ノルウェイ)

Standing Committee on Peer Review and Membership
新規会員の開拓・審査、既存会員の審査

SCH議長 L.Sanz, AENOR(スペイン)

Standing Committee on Harmonization and Best Practices
審査の前身、手法(プロセスまで)、報告書についてメンバー間での共有

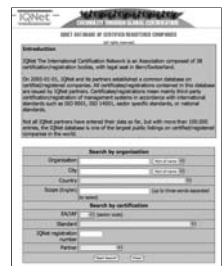
SCMD議長 亀山嘉和, JQA(日本)

Standing Committee on Marketing and Development
メンバー協力の推進、新商品開発

IQNetデータベースの紹介

IQNetのホームページでは、パートナー審査登録機関における、登録組織のデータを公開しています。審査登録機関や規格、国などで検索が可能で、収録されているデータ件数は23万件を超え、世界最大のデータベースとなっています。

<http://www.iqnet-certification.com/indexsearch.php>



IQNet9004とは

IQNet9004は、ISO9001をベースにISO9004とIQNet独自の評価事項を追加し、第三者機関がQMSのパフォーマンスを客観評価できるようにしたモデルです。評価結果として、経営者の意図や方針を考慮し、グラフと数値により達成レベルと改善余地が示された詳細な「QMS成熟度評価報

告書」を発行。ISO9001のレベルアップを図るためのツールとして、幅広い組織にご活用いただいております。

JQAにおけるIQNet9004の取り組み事例として、IQNetのWeb上に熊本リコー、ユニ・チャームの記事が掲載されております。